

被服学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 被服の歴史・文化や被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用などによるイメージや感性の表現ができる能力を身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

服飾文化史、現代ファッションデザイン、ファッションイメージ表現、被服心理、基礎造形など

【到達度】

- ① 被服の歴史・文化・役割を理解し、被服の社会的、保健衛生的役割を論理的に説明できる。
- ② 被服のイメージや感性の表現ができる基礎能力を身につけている。

【測定方法】

- ①は、レポート、筆記試験などにより、確認する。
- ②は、作品を通して感性や技術を確認する。

【到達目標】

2. 人体を把握し、人体と被服との関係や被服構造を知り、被服の構成力を身につけ被服パターン設計に活用できる能力を身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

被服人間工学、被服構成の基礎、パターン設計、縫製など

【到達度】

- ① 人体の構造と機能を理解して、被服形態との関連を説明し、機能評価ができる。
- ② 被服構成の基礎を理解して、被服設計ができる。
- ③ 縫製の基礎的な知識と技術を身につけ、被服造形ができる。

【測定方法】

- ①は、レポート、筆記試験などにより、確認する。
- ②は、筆記試験および実技試験などにより、確認する。
- ③は、筆記試験および作品などにより、確認する。

【到達目標】

3. 被服材料の特性を理解し、被服設計への応用と被服デザインの着用表現ができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

被服材料、テキスタイルデザイン、アパレル設計、色彩設計など

【到達度】

- ① 被服材料の特性を理解している。
- ② 被服材料の特性を活かしたアパレルの設計ができる。
- ③ ファッションプレゼンテーションができる。

【測定方法】

- ①と②は、筆記試験、レポートなどにより、確認する。
- ③は、作品制作やプレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

4. 繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みと企画設計までのプロセスを理解することができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

アパレル生産、アパレル企画、マーケティング、リテーリング、ビジュアルマーチャンダイジング、アパレル産業構造・流通など

【到達度】

- ① アパレル産業の構造と生産のプロセスを理解している。
- ② マーケティング手法について理解し、市場調査・分析の方法を身に付けている。
- ③ アパレル製品の情報収集、コンセプトの策定、デザインを考えることができる。

【測定方法】

- ①は、筆記試験などにより、確認する。
- ②は、筆記試験、レポートなどにより、確認する。
- ③は、レポートなどにより、確認する。

【到達目標】

5. 被服の生産、流通、消費における環境問題などを理解し、生活の質の向上を考えることができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

アパレル管理、アパレル環境科学、アパレル消費科学、ライフスタイルなど

【到達度】

- ① 環境や社会への影響などを考えて、被服の選択、維持管理の方法を理解している。
- ② 省資源的ライフスタイルを意識した衣生活の向上を考えることができる。

【測定方法】

- ①と②は、レポート、筆記試験などにより、確認する。